

令和5年度 ものづくり先端技術セミナー

テラヘルツ テクノロジー 2023

Beyond 5G時代を見据えた材料開発の最前線と応用

近年になり、300GHz近傍のテラヘルツ帯を用いた次世代通信規格であるBeyond5G(B5G)へ世界的な注目が集まっています。国内においても通信関連の大企業を中心とするB5Gコンソーシアムが発足されるなど、2030年頃の社会実装を目指して通信技術をはじめとして、材料等の周辺技術にまで広がる開発が始まっており、大きなビジネスチャンスとして捉えられています。

本セミナーでは、テラヘルツ分野のトップランナーによる今後の展開予想を含む基調講演のほか、テラヘルツ帯を活用した先進的な研究開発事例の紹介、装置メーカーによる技術トレンドの解説いたします。お気軽にご視聴ください。

開催日時

令和5年 **12/15** 金 13:00～17:30

開催方法 ハイブリッド開催 定員:オンサイト80名 /オンライン100名

会場

京都府産業支援センター 5階 研修室 **参加無料**



Chiko Otani

大谷 知行氏

国立研究開発法人理化学研究所

お問い合わせ

京都府中小企業センター 基盤技術課 材料評価係

TEL 075-315-8633

E-mail monokiban@kptc.jp

【主催】 京都府中小企業技術センター 公益財団法人京都技術科学センター

お申し込み方法の詳細は裏面をご覧ください

プログラム

- 13:00~13:05 開会挨拶
- 13:05~14:15 基調講演(60分) + 質疑(10分)
- 14:15~15:05 講演①(40分) + 質疑(10分)
- 15:05~15:20 休憩
- 15:20~16:10 講演②(40分) + 質疑(10分)
- 16:10~17:00 講演③(40分) + 質疑(10分)
- 17:00~17:05 閉会挨拶
- 17:05~17:30 ディスカッション

Chiko Otani

大谷 知行氏

基調講演

「テラヘルツセンシングの応用可能性と展望」

- ・5G/6G時代とテラヘルツ波
- ・テラヘルツ波を活用した研究
- ・テラヘルツ波の今後の発展性について

経歴

- 1990年 京都大学理学部卒業。
- 1995年 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了、博士(理学)。
同年、理化学研究所宇宙放射線研究室基礎科学特別研究員、X線天文学、超伝導X線検出器の研究に従事。
- 2002年 同川瀬独立主幹研究ユニット研究員
- 2005年 同テラヘルツイメージング研究チームリーダー、現在に至る。



講演①



Tomokazu Iyoda

彌田 智一氏

(同志社大学 理工学部 特別客員教授)

「らせん藻からTHz吸収マイクロコイル材料」

微生物のかたちを活かすバイオテンプレート材料として、らせん形状のスピルリナからB5G電波吸収材料への研究開発を紹介

講演②



Shuhei Okada

岡田 修平氏

(横河電機株式会社 マーケティング部 イノベーションセンター)

「テラヘルツで過去の水侵入履歴を可視化」

テラヘルツ波・炭酸カルシウム・接着剤を組み合わせた研究開発事例を紹介

講演③



Eiji Kato

加藤 英志氏

(株式会社アドバンテスト 新事業推進室)

「テラヘルツ分光装置の今とこれから」

テラヘルツ装置の機能・用途紹介、近年の技術トレンド紹介

申し込み方法

HPからお申込みください。

https://www.kptc.jp/seminar/monodukuri_202312/

- ・申込み頂きました個人情報は、本セミナー参加者名簿として活用させていただきます。
- ・京都府中小企業技術センターより、各種研究会、セミナー等に関する情報をお知らせすることがあります。



会場

京都府産業支援センター 5階 研修室

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

アクセス JR嵯峨野線/丹波口駅より徒歩5分

